

オーディオ実験室収載

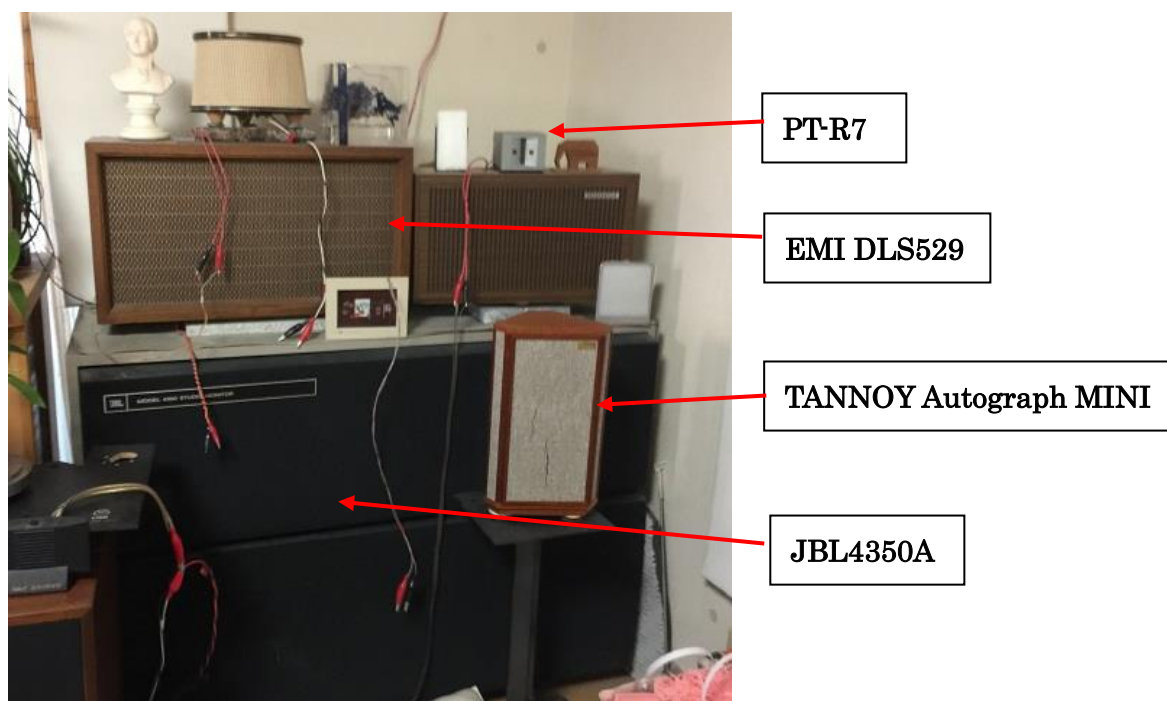
Nordost CD の TRACK11~TRACK13 試聴および関連試聴結果(4)

1. はじめに

前報(1)から前報(3)の FAL C90EXW に替えて、他のシステムにおいて Nordost CD の TRACK11~TRACK13 を試聴し、システム構成や設置条件との関係を調査します。

2. Nordost CD 試聴対象システムと試聴方法

PC 収納ファイル音源を Hi-Res Editor で再生し Sonica DAC に USB 入力しますが、システム構成の異なる試聴システムを替えて聴いていきます。



今回の試聴システムは、上記の 3 システムですが、前報(1)から前報(3)の FAL C90EXW は、4 ユニット 2Way でネットワークを持たず、さらにハイルドライバーにスーパーツイーターを 3 ユニットパラレルに加えています。ハイルドライバーの上下に平面ユニットがあり、仮想同軸のかたちをとっています。背面にはパッシブ平面ユニットがあります。駆動アンプは、300B シングルで、バイワイヤリング接続をしています。今回の 3 システムの詳細と試聴結果は以下のとおりです。

3. 試聴システム A TANNOY Autograph MINI

TANNOY Autograph MINI は同軸ユニットでネットワークがあり、設置は、TAOC のスピーカー台を使用しています。駆動アンプは、PX25 シングルアンプです。

Track11 Tone 1. Up

試聴結果：

左スピーカーの少し中央よりからシャカシャカ音が上方に移動します。次いで右スピーカーの少し中央よりからシャカシャカ音が上方に移動します。

Track12 Tone 2. Over

試聴結果：

左スピーカーの少し中央よりからシャカシャカ音が円弧を描きながら上方に移動し、右スピーカーの少し中央よりまで移動します。次いで右スピーカー少し中央よりからシャカシャカ音が円弧を描きながら上方に移動し、左スピーカーの少し中央よりまで移動します。ともに上方に移動したときの頂点は天井に届きません。

Track13 Tone 3. Lateral

試聴結果：

左スピーカーあたりからシャカシャカ音が水平に右方向に移動し、右スピーカーあたりで停止し、次いで右スピーカーあたりからシャカシャカ音が水平に左方向に戻り、左スピーカーあたりで停止します。この戻りの場合、音量が小さく奥行き方向に後退したように聴こえます。

さらに、右スピーカーあたりからシャカシャカ音が水平に左方向に移動し、左スピーカーあたりで停止し、次いで左スピーカーあたりからシャカシャカ音が水平に右方向に戻り、右スピーカーあたりで停止します。この戻りの場合、音量が小さく奥行き方向に後退したように聴こえます。

4. 試聴システム B EMI DLS529

EMI DLS529 は、2Way でネットワークがある。設置は、JBL4350A の上に横置きにしており、ウーファーとツイーターが横に並んでいます。駆動アンプは、Rogers Cadet III で、回路は不明ですが、3 極管と 5 極管の複合タイプの真空管駆動アンプです。

Track11 Tone 1. Up

試聴結果：

左スピーカーからシャカシャカ音が左右に振れながら上方に移動します。次いで右スピーカーからシャカシャカ音が左右に振れながら上方に移動します。

Track12 Tone 2. Over

試聴結果：

左スピーカーの少し左側からシャカシャカ音が円弧を描きながら上方に移動し、右スピーカーの少し右側まで移動します。次いで右スピーカー少し右側からシャカシ

シャカ音が円弧を描きながら上方に移動し、左スピーカーの少し左側まで移動します。ともに上方に移動したときの頂点は天井に届きません。

Track13 Tone 3. Lateral

試聴結果：

左スピーカーの少し左側からあたりからシャカシャカ音が水平に右方向に移動し、右スピーカーの少し右側あたりで停止し、次いで右スピーカーの少し右側あたりからシャカシャカ音が水平に左方向に戻り、左スピーカーの少し左側あたりで停止します。この戻りの場合、音量が小さく奥行き方向に後退したように聴こえます。

さらに、右スピーカーの少し右側あたりからシャカシャカ音が水平に左方向に移動し、左スピーカーの少し左側あたりで停止し、次いで左スピーカーの少し左側あたりからシャカシャカ音が水平に右方向に戻り、右スピーカー少し右側あたりで停止します。この戻りの場合、音量が小さく奥行き方向に後退したように聴こえます。

5. 試聴システム C JBL4350A

JBL4350A は、本来 5 ユニット 2 チャンネルのマルチアンプ駆動ですが、PT-R7 を載せて 6 ユニット 3 チャンネルのマルチアンプ駆動としています。下方にダブルウーファーがあり、上方中央にミッドバス、その外側にホーンとツイーターがマウントされており、ミッドバス、ホーンとツイーターはネットワークで分割されています。3 チャンネルのマルチアンプは、いずれもプッシュプルアンプで位相反転回路を有しています。

上記のようにチャンネルデバイダーとネットワークを有し、チャンネルデバイダーのクロスオーバーは、位相が 180 度回る、 -12dB としています。

Track11 Tone 1. Up

試聴結果：

左スピーカーのホーンユニットあたりからシャカシャカ音が左右に振れながら上方に移動します。次いで右スピーカーのホーンユニットあたりからシャカシャカ音が左右に振れながら上方に移動します。

Track12 Tone 2. Over

試聴結果：

左スピーカーのホーンユニットあたりからシャカシャカ音が円弧を描きながら上方に移動し、右スピーカーのホーンユニットあたりまで移動します。次いで右スピーカーのホーンユニットあたりからシャカシャカ音が円弧を描きながら上方に移動し、左スピーカーのホーンユニットあたりまで移動します。円弧を描いての移動中シャカシャカ音は左右に振れます。

Track13 Tone 3. Lateral

試聴結果：

左スピーカーのホーンユニットあたりからシャカシャカ音が水平に右方向に移動し、右スピーカーのホーンユニットあたりで停止し、次いで右スピーカーのホーンユニットあたりからシャカシャカ音が水平に左方向に戻り、左スピーカーの少しホーンユニットあたりで停止します。この戻りの場合、音量が小さく奥行き方向に後退したように聴こえます。

さらに、右スピーカーのホーンユニットあたりからシャカシャカ音が水平に左方向に移動し、左スピーカーのホーンユニットあたりで停止し、次いで左スピーカーのホーンユニットあたりからシャカシャカ音が水平に右方向に戻り、右スピーカーのホーンユニットあたりで停止します。この戻りの場合、音量が小さく奥行き方向に後退したように聴こえます。

6. まとめ

試聴システム A から試聴システム C は、FAL C90EXW と、基本的には同じような挙動を示しましたが、システム構成の複雑さやユニットの構成と配置条件がそれぞれ異なり、上記のようにシステムに特徴的な変化がみられました。

以上